

らべんだーどおりをちゅうしんとしたみやのさわちゅうおうちくのとりくみがつくるけいかん
ラベンダー通りを中心とした宮の沢中央地区の取組がつくる景観

【景観上の特徴】

宮の沢中央地区では、地区を通る二十四軒・手稲通歩道部へ地域の方々がラベンダーを植え、育てる取り組みが地域主体で積極的に行われており、「ラベンダー通り」として地域のシンボルとなる道路景観がつくられるとともに、取組を通じたコミュニティが育まれています。

このほかにも、清掃活動やラベンダーを活用したクラフト作り、冬には地域ぐるみでスノーキャンドルやアイスキャンドルによる冬の景観づくりなど、地域にとって欠くことのできない景観となり、この通りを中心に、地域主体の活動が広がっています。

地域の方々が時間をかけてその地域ならではの景観を育て、その景観がさらに地域の絆を育んでいる姿は、「四季の変化」や、「冬の暮らし」といった札幌の景観特性を生かした良好な景観の形成につながっており、「多様な主体がつながり、持続的に取組を重ねる景観づくり」をあらわしています。



登録年月日	平成31年（2019年）3月19日
所在地	札幌市西区（宮の沢中央地区 二十四軒・手稲通）
連絡・ 問い合わせ先	連絡先名： TEL：
URL・資料	
備考	※地域の活動を尊重し、ラベンダーを勝手に採取したり、踏み荒らしたりしないでください。

平成31年（2019年）3月時点

ラベンダー通りを中心とした宮の沢中央地区の取組がつくる景観

位置図

